

平成 2 9 年 第 2 回 雲仙市議会定例会

市 長 報 告
(開 会)

平成 2 9 年 6 月 8 日

雲仙市長 金澤 秀三郎

【諫早湾干拓開門差止訴訟について】

4月17日、長崎地方裁判所において、諫早湾干拓地潮受堤防排水門開放差止請求事件に関し、開門の差し止めを命じる判決が出されました。それを受け、4月21日に大久保議長と共に上京し、農林水産大臣に対して、今後、市民の安全の確保と一刻も早い有明海再生に取り組んでいただくようお願いして参りました。その後、4月25日には農林水産大臣が国として開門しない方針を明確にし、控訴しないとの談話が発表されました。

雲仙市といたしましても、これまで同様、防災、農業、漁業、環境の観点から、市民の安全・安心を第一に考え、長崎県及び諫早市と連携をとりながら対処してまいる所存であります。

【第30回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2017について】

3月28日から30日にかけて、第30回都道府県対抗ジュニアバスケットボール大会2017が開催され、長崎県選抜チームのメンバーとして瑞穂中学校3年の立石天馬さん

が出場され、見事、準優勝という素晴らしい成績を収められました。

心からお祝い申し上げますとともに、今後の更なるご活躍を期待いたしております。

【第31回九州少年少女レスリング選手権大会について】

4月29日から30日にかけて、第31回九州少年少女レスリング選手権大会が開催され、国見中学校1年の内野杏美さん、土黒小学校4年の柴崎祐揮さん、同じく4年の内野結心さんが出場され、3選手とも見事、優勝という素晴らしい成績を収められました。

中学生の内野さんは、6月10日から茨城県で開催される全国大会へ出場され、また、小学生の柴崎さんと内野さんは、7月21日から福岡県で開催される全国大会へ出場されます。

心からお祝い申し上げますとともに、その実力を遺憾なく発揮されることを期待いたしております。

【第14回長崎県ねんりんピックについて】

5月13日、第14回長崎県ねんりんピックが開催されました。

雲仙市からは14の競技種目に104名の選手が参加され、卓球競技女子65歳以上の部で国見町の梶田敬子様、サッカー競技においては、国見町の塩田貞祐様、綱田誠志様、和住順一様、千々石町の松尾修一様、山本松一様が所属されている「島原オールドボーイズサッカークラブ」が見事優勝されました。

卓球競技の梶田様、サッカー競技の塩田様、松尾様が、9月9日から秋田県で開催される全国健康福祉祭あきた大会に出場されます。

心からお祝い申し上げますとともに、その実力を遺憾なく発揮されることを期待いたしております。

【公益財団法人長崎県消防協会会長就任について】

5月31日、公益財団法人長崎県消防協会臨時理事会におきまして、雲仙市消防団長 川上清記様が県央県南地区からは初となる長崎県消防協会会長に就任されました。

心からお祝い申し上げますとともに、今後とも県内の消防体制の充実及び地域防災力の向上にご尽力されますことを期待いたしております。

続きまして、主な市政の取り組み等について、第2次雲仙市総合計画の基本方針に基づき報告させていただきます。

【基本方針1「暮らしと安心」の分野について】

移住・定住の取り組みにつきましては、4月1日、国見・瑞穂地域を担当する地域おこし協力隊員として、津田亜季さんが着任いたしました。

隊員となった津田さんには、これまでの民間企業で培われた経験と、豊かな感性を活かした企画及び情報発信を行っていただき、定住促進のための地域力の維持・向上に期待するものでございます。

また、5月1日より、市内への移住を検討している方を対象にした「お試し住宅」の運用を開始し、5月には、関東在住の方が利用されております。

今後におきましても、移住希望者の受入体制の整備や情報

発信の充実を図ってまいります。

高齢者福祉及び障がい者福祉の取り組みにつきましては、5月25日、卓上型対話支援機器「コミュニケーション」を、ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社様よりご寄贈いただきました。

従来の補聴器などのシステムとは一線を画し、聞こえやすさを向上させた機器となっており、現在、福祉課窓口に設置し、有効に使用させていただいております。

なお、今回の寄贈は、機器の販売代理店である株式会社内田屋 取締役本部長 井上久夫様が南串山町出身というご縁で実現したものでございます。

今後におきましても、高齢者や難聴者の方が安心して窓口を訪れていただける環境づくりに取り組んでまいります。

消防救急体制につきましては、5月30日、県央地域広域市町村圏組合管理者に対し、雲仙市南部地区の南串山町に救急車を常備した分署の増設について、大久保議長とともに要望書を提出いたしました。

防災の取り組みにつきましては、自主防災組織の育成について、4月の自治会長会議において具体的な組織化の手順等

を説明するとともに、6月2日には、市内8箇所の危険箇所を巡回し、担当部署から説明を受けながら点検を実施いたしました。

今後におきましても、救急・消防、防災の更なる強化が図られるよう、年次的に整備を行うとともに、必要に応じて県等へ働きかけてまいります。

【基本方針2「産業と交流」の分野について】

農業生産基盤の整備につきましては、4月28日に、国見町宮田地区におきまして、小川清美様を理事長とする宮田土地改良区の設立総会が開催され、受益面積33.6ヘクタール、総事業費12億6,300万円の事業が平成34年度完了を目指してスタートいたしました。

今後も、新規要望地区の掘り起こしなど、全市的な農業生産基盤整備の実現を目指して、積極的な推進を図ってまいります。

水産業の振興につきましては、漁業後継者育成の取り組みとして、本年4月より、市内外から4名の新規漁業就業者を確保し、技術習得研修を開始したところでございます。

また、昨年に引き続き、今年も３月から４月までの間、国見町神代地区、瑞穂町古部地区の海岸で、地元漁協によるアサリの潮干狩りが開催されました。

今年は、延べ６，４９７人の市民及び市外の方が潮干狩りを楽しまれており、産業育成及び交流人口の拡大の観点からも、引き続き種苗放流や生息環境改善等の資源確保の支援に取り組んでまいります。

物産の振興につきましては、４月２０日から２５日にかけて、長崎市にあります夢彩都で島原半島３市の物産展となる「島原半島物産フェア」を開催し、販売を通じて本市の特産品の魅力を多くの方々に発信いたしました。

今後あらゆる機会を活用し、積極的に特産品のＰＲを行ってまいります。

観光の振興につきましては、まず、島原半島の３市でつくる島原半島ジオパーク協議会において、４月より専門員２名を新たに採用いたしました。本年７月の世界ジオパーク再認定審査に向けて、更なる運営体制の強化と、地域に根ざしたジオパークとなるよう取り組んでまいります。

また、昨年度から市として取り組んでまいりました誘致活

動の成果により、5月15日、クルーズ船「ぱしふいっくびいなす」が小浜港に寄港し、総勢300名を超すお客様が来仙されました。

今後におきましても、様々な視点や角度により、交流人口の拡大と観光産業の活性化に努め、観光の振興を図ってまいります。

国際交流事業につきましては、新しい国際交流員として韓国光州広域市出身の崔誠恩さんが4月10日に着任されました。

今後、市民向けの韓国語講座や韓国文化の紹介などを通して、市民との文化交流が更に深まることを期待しております。

また、5月17日、韓国求礼郡におきまして「雲仙市・求礼郡姉妹結縁締結十周年記念式典」が執り行われ、本市からは、大久保議長をはじめ市議会議員の方々にもご参加頂き、総勢14名で式典に出席いたしました。

10周年の節目を契機として、今後の雲仙市と求礼郡との信頼関係の強化に向け、様々な分野において交流を進め、双方の発展と繁栄を促進するよう努めてまいります。

【基本方針 3 「社会基盤と環境」の分野について】

道路の整備につきましては、国道 5 7 号の現道の機能強化並びに、島原道路の未着手区間の新規事業化と、現在整備中区間の早期整備に向けた要望に取り組んでまいりましたが、平成 2 9 年度国土交通省道路関係予算におきまして、国道 5 7 号の小浜町富津地区の富津視距改良事業や、地域高規格道路「島原道路」の瑞穂吾妻バイパス事業等の継続事業につきまして引き続き予算化されました。

大久保議長をはじめ議員の皆様からのご助力を含め、事業化に向けご尽力をいただいた関係各位に対し、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

今後におきましても、雲仙市における交通環境整備促進に向けた要望活動に取り組んでまいりますので、議員各位のご協力をお願いいたします。

【基本方針 4 「人材と郷土」の分野について】

スポーツの推進につきましては、4 月 2 2 日から、5 月 3 日にかけて、「第 1 2 回雲仙市ジュニアスポーツ大会」が開催され、1 0 競技 2 2 種目に、市内外から 2 5 4 チーム、総

勢2, 640名の参加がございました。

本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた市体育協会と各競技団体の皆様に感謝申し上げますとともに、今後とも市民参加型スポーツの推進に取り組んでまいります。

【基本方針5「協働と戦略」の分野について】

本市の情報発信への取り組みにつきましては、5月14日、関東島原半島会の第69回総会に大久保議長とともに出席し、本市特産品やふるさと納税のPRをはじめ、定住支援策のPRを行ってまいりました。

今後におきましても、雲仙市の歴史、文化、自然等の魅力を発信し、交流人口の拡大と移住者の増加に向けて取り組んでまいります。

庁舎整備につきましては、6月4日、国見総合支所の新築庁舎完成に伴う開所式を行い、翌日から新築庁舎での業務を開始いたしました。

今後も、市民サービス及び防災の拠点としての機能を充実させるよう、順次、庁舎整備を進めてまいります。